

平成 21 年 7 月 21 日現在

研究種目：基盤研究（C）
研究期間：2006～2009
課題番号：18530324
研究課題名（和文） ダイバーシティ・マネジメントの観点からみた企業におけるジェンダー平等戦略
研究課題名（英文） Gender equality strategy in enterprises from the viewpoint of diversity management
研究代表者
 杉田 あけみ（SUGITA AKEMI）
 千葉経済大学短期大学部・教授
 研究者番号：30399224

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経営学 経営学

キーワード：経営学 企業経営 ジェンダー平等 ダイバーシティ CSR

1. 研究計画の概要

- (1) 文献検索・収集，内容の把握。
- (2) アンケート調査とその集計・分析，研究成果の発表（学会，紀要等）。
- (3) インタビュー調査とその分析，研究成果の発表（学会，紀要等）。
- (4) 研究成果の「総まとめ」，報告書作成。

2. 研究の進捗状況

2006 年度

- (1) アンケート調査を実施するに当たって，ワークライフ・バランスに関する国内外の文献で，ワークライフ・バランスに関する現状等を把握した。
- (2) 厚生労働省の均等推進企業表彰受賞企業（1999 年～2006 年）と同ファミリー・フレンドリー企業表彰受賞企業（1999 年～2005 年）とに，ワークライフ・バランスに関するアンケート調査を実施した。
- (3) 企業アンケートと従業員アンケートとを集計・分析した。
- (4) 紀要，ワーキング・ペーパーに発表した。

2007 年度

- (1) インタビュー調査を実施した。インタビュー調査実施企業は，2006 年度アンケート調査回答企業のうち，インタビュー調査可と回答のあった企業のなかで，東日本を中心とした。インタビューは，面接によるものが13社，25人，メール送受信によるものが8社，8人，FAXによるものが2社，2人である。

- (2) インタビューは，面接によるものはテープ起こしをし，メール・FAXによるものとともに質的分析を行った。
- (3) 学会，紀要，ワーキング・ペーパーに発表した。

2008 年度

- (1) インタビュー調査，従業員アンケート調査を実施した。インタビュー調査実施企業は，2006 年度アンケート調査回答企業のうち，インタビュー調査可と回答のあった企業のうち，西日本を中心に実施した。インタビューは面接によるものであり，9社，16人である。従業員アンケート調査は，一企業の従業員22人（男性8人，女性14人），研究者のホーム校の学生と非常勤校の学生を通してその両親等186人（男性81人，女性105人）に実施した。
- (2) 面接によるインタビュー内容は，テープ起こしをし，質的分析を行った。従業員アンケート調査は，集計・分析した。
- (3) 著書（共著），紀要，ワーキング・ペーパーに発表した。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

（理由）

2005 年 11 月に 2006 年度基盤研究（C）（一般）に応募したときの研究計画，および年度ごとに提出している研究計画にそって，ほぼ予定どおりに進展している。また，2008 年度には，当初の計画になかった従業員調査を実

施している。

4. 今後の研究の推進方策

- (1) 2008年度研究において、年度内にまとめが未終了となっているものをまとめる。
- (2) 2006年度～2008年までの研究成果の「総まとめ」をする。
- (3) 2006年度～2008年度の研究成果を部分的に、学会、紀要、ワーキング・ペーパーに発表する。
- (4) 2006年度～2008年までの研究成果の「総まとめ」を報告書にする。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 7件)

- ① 杉田あけみ「企業におけるジェンダー平等に向けて—ワークライフ・バランスに注目した調査から—」『千葉経済大学短期大学部研究紀要』第3号, pp.69-78, 2007年, 査読無。
- ② 杉田あけみ「労使からみたワークライフ・バランスの現状—ワークライフ・バランスに関する調査から」『昭和女子大学女性文化研究所 Working Paper』No.24, 2007年, 査読無。
- ③ 杉田あけみ「ワークライフ・バランスに関する考察—株式会社千葉興業銀行のケースから—」『千葉経済大学短期大学部研究紀要』第4号, pp.23-38, 2008年, 査読無。
- ④ 杉田あけみ「ワークライフ・バランスに関する考察—ジェンダー・ダイバーシティ・マネジメントの観点から—(特別医療法人恵仁会, 医療法人社団駿甲会コミュニティーホスピタル甲賀病院のケースから)」『昭和女子大学女性文化研究所 Working Paper』No.27, 2008年, 査読無。
- ⑤ 杉田あけみ「企業におけるジェンダー平等とワークライフ・バランス」『千葉経済大学短期大学部研究紀要』第5号, pp.23-32, 2009年, 査読無。
- ⑥ 杉田あけみ「ワークライフ・バランス(WLB)の実態とその満足度との関係」『昭和女子大学女性文化研究所紀要』第36号, pp.67-79, 2009年, 査読有。
- ⑦ 杉田あけみ「ワークライフ・バランスに関する考察—ジェンダー・ダイバーシティ・マネジメントの観点から—(株式会社サタケのケース)」『昭和女子大学女性文化研究所 Working Paper』No.32, 2009年, 査読無。

〔学会発表〕(計 3件)

- ① 杉田あけみ, 伊藤セツ「生活経営と企業経営からみたワークライフ・バランス」日本

- 家政学会第59回大会, ポスターセッション, 2007年5月12日, 長良川国際会議場。
- ② 杉田あけみ「企業におけるジェンダー平等を推進していく人材の育成」日本経営教育学会第55回大会, 口頭発表, 2007年6月30日, 青山学院大学。
 - ③ 杉田あけみ, 伊藤セツ「Study on Work-life balance Consciousness」14th ARAHE Biennial Congress Poster Presentations 7 Aug. , EASTIN HOTEL, Petaling Jaya.

〔図書〕(計 1件)

杉田あけみ「ジェンダー・ダイバーシティ・マネジメントとワークライフ・バランス」堀内かおる編著『福祉社会における生活・労働・教育』明石書店, pp.142-162, 2009年。